

「東北横断自動車道釜石秋田線宮守～東和間走行体験会」を開催

港湾課

県土整備部では、東北横断自動車道釜石秋田線（宮守～東和間）の開通が目前に迫った 11 月 22 日、国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所のご協力を頂き、同区間で走行体験会を開催しました。

これは、港湾を利用されている企業や県内に所在する企業の皆様を対象に、県央部と釜石港及び大船渡港を結ぶ物流ルートの整備状況を体験して頂こうと企画したものです。

当日は、関係市町の皆様を含め、約 30 名の方々にご参加いただき、北上市から現在の物流ルートである一般国道 107 号を東進し、宮守 IC から東和 IC に向かって、東北横断自動車道に入りました。

当然のことながら、現国道のような急勾配や急カーブは解消されており、快適な走行となりました。開通後は、県央部と沿岸を結ぶ物流ルートとして、絶大な効果を発揮することが期待されます。



岩手河川国道事務所の職員による事業説明



参加者による記念撮影



田瀬橋から国道 107 号と田瀬ダムを望む



江刺田瀬 IC 付近から東側を望む

開通後、当路線は自動車専用道路となるため、緊急時以外は駐停車することができません。立ち止まって上のような写真を撮影することもこれが最後かもしれません。